

学校経営の中核「玉中至心」

本年度、谷口校長先生の後を引き継ぎました太田恭司と申します。自宅は大牟田市で、4年ぶりの学校です。新入生同様、少し、緊張気味です。どうぞ、よろしくお願いします。

校長室便りとして、学校の情報発信を行います。今回は、4月17日(金)に行われたPTA総会での挨拶を掲載いたします。

タイトルの「玉中至心」とは、玉中生徒としての伝統ある精神です。「挨拶する心、清掃する心、学ぶ心、律する心、感謝する心」の5つの心です。



PTA総会挨拶

本年度は、244名の新入生を迎え、全校生徒730名と58名の職員でスタートしました。学級数は1年生7クラス、2年生6クラス、3年生7クラス、特別支援学級3クラスの合計23クラスです。

それでは、本年度の学校の教育方針をお伝えします。

ご存知のとおり、学校を取り巻く環境は、グローバル化、技術革新等で、急激に変化しています。

これから先10年後は、今の中学生のほとんどが社会人になっています。おそらく、今は存在しない職業が数多く生まれています。そして、人工知能の発達により、今ある仕事の中には、機械化され、ロボットが行うということが現実に起こってきます。

ですから、これからのお子さんたちに求められる力は、自分の考えをしっかりと持ち、基礎的、基本的な知識や技能を活用しながら、多様性を受容し、チームで協働して、新たな考え方、新たなものを創造していく力です。

このような力を、授業を中心として、生徒会活動、部活動など、学校教育活動の全体を通して、育てていきたいと思っています。

からの社会では、このような教育活動が、子どもたちの夢を現実のものへと引き寄せていきます。

そこで、学校が保護者の皆様と力を合わせて、実践していきたいことが3点あります。

1点目は、子どもたちにとって、学校や家庭が安心、安全なところであるということです。

2点目は、学校にも家庭にも居場所があるということです。

具体的には、いじめや仲間はずれは絶対認めないとということです。

数年前、玉中でも無料通信アプリを使いたいじめや仲間外しなどがあったと聞いております。いじめは、時には命に関わる大きな人権問題です。県内でも、あってはならない悲劇が起こっています。いじめられている生徒は絶対に守り通すという姿勢で解消に当たっていきます。少しでも、おかしいと思われるようなことがあれば連絡をお願いします。

3点目に、お子さんが学校でもご家庭でも認められていると感じるようになります。

以上の3つの欲求が部分的にでも満たされていくことで、本校が目指す教育活動やご家庭での教育が機能していきます。是非、この3点について心に強く留めておいていただきたいと思います。

新年度が始まって、2週間程度ですが、玉中の生徒の姿を見ていると、私の方が、こんなこともやってみたい、あんなこともやってみたいという思いになります。これは、玉中の伝統である「玉中至心」を大事にした教育が学校、家庭、地域と一体となって育まれてきた証であると思っています。本年度も同様に、「玉中至心」を学校経営の中核に据え、玉中至心活動として、更に、充実させていきます。

ここで、生徒会の本年度のテーマを紹介します。
「羅針盤（コンパス） 進もう！目指される玉中へ」です。生徒会と本校職員とが一丸となって前進していきます。



最後になりますが、今や学校は、学校の力だけでは、十分な教育活動ができにくくなっています。チーム学校として、地域の方々や保護者の方々、関係機関と協働しながら、より一層充実した教育活動を展開していくかなくてはなりません。コミュニティ・スクールとしての役割を最大限発揮し、更に、地域に開かれた学校にしていきたいと思います。

平成27年4月17日

玉名市立玉名中学校 校長 太田 恭司